

第1回評価委員会・議会福祉環境委員会意見交換会 における地方独立行政法人長野市民病院中期目標(案) への意見に対する評価委員会の対応について

1 趣旨

長野市民病院評価委員会と市議会福祉環境委員会との意見交換会を開催し、地方独立行政法人長野市民病院中期目標(案)について、福祉環境委員会委員の意見をお聴きしました。意見に対する評価委員会の対応についてお知らせするものです。

2 開催日時及び場所

平成27年7月14日(火) 午後2時～3時20分
長野市役所 第一庁舎8階 議会第二委員会室

3 出席者

(1) 評価委員会委員(6名)

小池 健一(委員長)、岩野 彰、小口 壽夫、小林 邦一、畠山 悦子、本道多加子

(2) 市議会福祉環境委員会委員(10名)

阿部 孝二(委員長)、若林 祥(副委員長)、倉野 立人、小泉 一真、布目裕喜雄、野本 靖、小林 治晴、小林 義直、近藤 満里、寺沢さゆり

4 意見件数

6件(詳細は、下記のとおり)

5 意見に対する評価委員会の対応

(1) 対応結果一覧

区分	対応内容	件数
【Ⅰ】	(案)を修正する。	2
【Ⅱ】	(案)に盛り込まれており、修正しない。	2
【Ⅲ】	(案)は修正しないが、中期計画(※)策定の際に検討し対応する。	0
【Ⅳ】	(案)は修正しないが、今後の検討課題又は参考とする。	2
【Ⅴ】	検討の結果、(案)に反映しない。	0
【Ⅵ】	その他(質問への回答、状況説明など)	0
合 計		6

(※)中期計画・・・市長から指示された中期目標を達成するため、地方独立行政法人が平成28年4月に作成する具体的な計画

(2)各意見に対する評価委員会の対応

番号	頁	(案)の箇所	福祉環境委員の意見(概要)	評価委員会の対応(市への意見)	区分
1	1	前文	市民病院は、長野市民だけのものではない。 長野医療圏の中での市民病院という位置付けを考慮し、これからどうして行きたいか方向性も示した方が良いのではないかと。	がん、救急を中心に、長野市民病院が長野医療圏若しくは長野県全体に果たしてきた役割は大きい。 そうした文言を盛り込み、今後向かう方向性を示す必要がある。	【Ⅰ】案を修正
2	2	第2 1 (4) 高齢者等に配慮した医療	これから超高齢社会に向かうことが分かっているのだから、「地域の医療・介護の関係者と連携・役割分担の上、必要とされる医療機能の充実に努めること」では、対応が不足しているのではないかと。	市民病院は、地域医療支援病院として高度専門医療を提供し、地域医療機関等は、回復期・慢性期の患者を担うという連携・役割分担が明確になってきており、今後、地域包括ケアシステムを構築していく中で、さらに対応していく必要がある。	【Ⅱ】案に盛り込み済
3	3	第2 4 (1) 地域医療機関等との機能分担と連携強化	医療制度改革への対応について盛り込むべきではないかと。	医療制度改革の全体がまだ見えていない。 今後、医療機関の機能分担がどうなっていくか、また、診療報酬がどのように関わるかなど様々な課題がある。 中期目標には大まかな方向性を示しておき、国や県からの指示に対しては、その都度、地方独立行政法人の年度計画で対応していく必要がある。	【Ⅳ】今後の検討課題
4	3	第2 4 (1) 地域医療機関等との機能分担と連携強化	複数の大病院が同様の機器を競い合って整備することなどが、長野医療圏内における将来の医療振興に資するのかどうか疑問である。 地域医療機関との連携だけではなく、同規模の大病院との機能分担、連携を進めるべきではないかと。	機能分担については今後1～2年で明確になるため、これを踏まえながら考えていく必要がある。	【Ⅳ】今後の検討課題
5	4	第3 1 (1) PDCAサイクル(目標による管理と評価の仕組み)の確実な実践	理事長の権限強化に対するチェック機能を設けるべきではないかと。	法及び定款に基づく方法で、対応が可能である。 地方独立行政法人では、理事長及び理事会が意思決定の権限を有するとともに、その責任を負うことになる。	【Ⅱ】案に盛り込み済
6	5	第4 財務内容の改善に関する事項	前文には、自律性・機動性・柔軟性・効率性が発揮できる組織体制の変革が必要と考え、地方独立行政法人へ移行すると記載されている。 収益確保には人員体制の整備が重要であり、これこそが正に組織体制の変革に通じるものである。 必要な職種・人材の確保・配置についても盛り込むべきではないかと。	中期目標には考え方を示し、具体的な内容は、中期計画に盛り込むことを協議していく必要がある。	【Ⅰ】案を修正